

- ・債券のしくみ

債券は、設備投資や運転資金などの資金調達の必要がある発行体(国や地方自治体や企業など)が、元本の返済や利息の支払いを約束して発行する、いわば借用証書のようなものである。

- ・債券の種類

債券は、その発行主体、利払いの方法によって分類できる。

発行主体で分類	公社債	国債、地方債など
	民間債	社債、金融債など
利払方法で分類	利付債	毎年利息が支払われるもの
	割引債	利息はつかないが、額面より低い価格で発行されるもの
発行状態で分類	新発債	これから新しく発行されるもの
	既発債	すでに市場で流通している

- ・債券の発行条件

表面利率 (クーポンレート)	額面金額に対して毎年受け取ることができる利息の割合。 (購入金額に対する割合ではない)
償還期限	債券の券名に記載された金額が償還される期日。償還時には、額面金額が投資家に償還される。預金でいえば、満期日にあたる。
発行価格	債券は額面金額で発行されるわけではなく、購入される時には、発行価格が用いられる。発行価格は額面金額 100 円当たりで表示される。

発行価格は、額面 100 当たりに対しての価格を表示

名称	額面金額	発行価格	例
オーバーパー発行	100 円	100 円超	101 円
パー発行	100 円	100 円	100 円
アンダーパー発行	100 円	100 円未満	99 円

- ・市場取引と相対取引

債券が一般的な借用証書と違う点は、基本的にいつでも自由に売買できる点である。債券を取引する市場は、3つある。

証券取引所に上場された債券を取引所のルールに則って売買する、取引場市場、
証券取引所を通さないで金融機関と投資家が直接取引する、店頭市場、
銀行や証券会社など金融機関同士がお互いに取引する、業者間取引の3つである。日本の
債券売買の大多数は、店頭市場である。

・債券と利回り

債券には、応募者利回り、最終利回り、所有期間利回り、直接利回りの4つがある。
 応募者利回りとは、新発債を購入し、満期償還時まで保有した場合の利回り。(新規の発行
 から最後までもっていること)
 最終利回りとは、既発債を一定期間保有し、途中で売却した場合の利回り。(途中で買って
 最後まで持っていること)
 所有期間利回りとは、債券を一定期間保有し、途中で売却した場合の利回り。(途中で買って
 途中で売るまたは、最初に買って途中で売る)
 直接利回り、投資金額に対していくらの利息収入があるかを見る場合の利回りのことである。

・債券とリスク

債券には、市場金利が変動すると、債券も価格変動するリスクがある。例えば、利回り
 4%の債券は、市場金利が2%に低下すると有利な利回りなので人気があるが、その結果
 この債券の価格は上昇する。反対に市場金利が6%に上昇すると不利な利回りなので人気
 がなくなり、債券価格はさがる。このように市場金利と債券価格は反比例の関係になる。

市場金利上昇→債券価格下落→債券利回り上昇
市場金利下落→債券価格上昇→債券利回り低下

景気	上昇	金利上昇	債券相場下落
	後退	金利低下	債券相場上昇
物価	上昇	金利上昇	債券相場下落
	後退	金利低下	債券相場上昇
為替	円安 (ドル高)	金利上昇	債券相場下落
	円高(ドル安)	金利低下	債券相場上昇
金利差	ドル金利上昇	金利上昇	債券相場下落
	ドル金利下降	金利低下	債券相場上昇
公定歩合	金融引き締め	金利上昇	債券相場下落
	金融緩和	金利低下	債券相場上昇

・信用リスク

信用リスクとは、債券の利息、元本の全部または一部の支払いが遅延もしくは支払われなくなるリスクのこと。格付専門機関が信用力を判断して発表している。一般にトリプル B(BBB)以上の格付けをもつ債券を投資適格債券といい、投資対象にふさわしいとされ、ダブル B(BB)以下の低い格付けの債券を投機的債券(ジャンク債、ハイイールド債)という。

高格付けの債券は、価格が高くなり、利回りは低くなる。

低格付けの債券は、価格が安くなり、利回りは高くなる。

・株式投資と債券投資

株式は企業に対する出資のことで、将来の収益のために必要な資本として企業に投入するので投資の成果として企業が収益を上げれば、配当を受け取ることができます。

債券と大きく違うのは、どのくらいもらえるのか不確定であること。元本部分の返還が約束されない分だけ、成功したときに収益は大きい。それが株式投資である。

債券は、上記で述べたように貸したお金に対する借用証書である。例えば、日本国債を購入するということは、日本政府にお金を貸し付けたことを意味する。国債は、借り手である国が発行する借用証書で、貸したお金なので、基本的には期限がくれば帰ってくる。利子が付きほとんどの債券は、購入した時点で受け取り利子の確定している金融商品である。

・国債と債券

国債は国が発行する債券で、満期まで保有すると元本が償還されるが、元本が保証されているわけではない。国は国民のために様々な施設を作ったりするが、税金だけでは、お金がたりないときがあり、その時などに国債を発行する。しかし、今の日本にはその借金を返すだけの収入がなく消費税をあげようとしている。